

平成29年度「子供と家族・若者応援団表彰」の選考に関して

「子供と家族・若者応援団表彰」
選考委員会委員長
明石 要一（千葉敬愛短期大学学長）

「子供と家族・若者応援団表彰」の選考において、子供・若者の健やかな成長や困難を有する子供・若者や家族を支援する活動を対象とする「子供・若者育成支援部門」では、都道府県・政令指定都市、関係府省から推薦された53件の中から12件を、多様な連携による子育て支援活動や男性も女性も仕事と生活が調和できる社会活動を対象とする「子育て・家族支援部門」では、同様に38件の中から8件を、内閣総理大臣表彰又は内閣府特命担当大臣表彰に相応しい活動として表彰することとしました。

受賞された方々の活動は、地域と連携しながら孤立しがちな子供・若者への居場所を提供する活動や当事者目線での子育て支援活動など、子供と家族・若者を応援する活動を、いずれも長年に渡り精力的に行ってこられたものです。

特に、内閣総理大臣賞を受賞された4件の活動は、継続性や将来性もあり、利用者・参加者からも支持されている活動であり、地域における子供・若者の育成支援や子育てを担う家族支援の独創的かつ先駆的なモデルと言えます。

また、今回、受賞されなかった企業や団体、個人の方々にも優れた活動実績がある取組が多く見られました。そうした優れた活動を行っている企業や団体、個人の方々につきましては、他の団体等の活動の参考となるよう、また、活動内容を広く社会に知っていただくことができるよう、チャイルド・ユースサポート章として、両部門で合計13件を選定いたしました。受賞された団体、個人の活動に加えて、こうした活動内容も本事例集で紹介しておりますので、是非、多くの方に御覧いただければと思います。

受賞された皆様には、これまでの活動を更に充実され、子供や若者の健やかな成長の応援団、子育てと子育てを担う家族の応援団として御活躍されることを、また他の多くの方々がこうした活動を参考に各地域での取組を充実されることを期待しています。